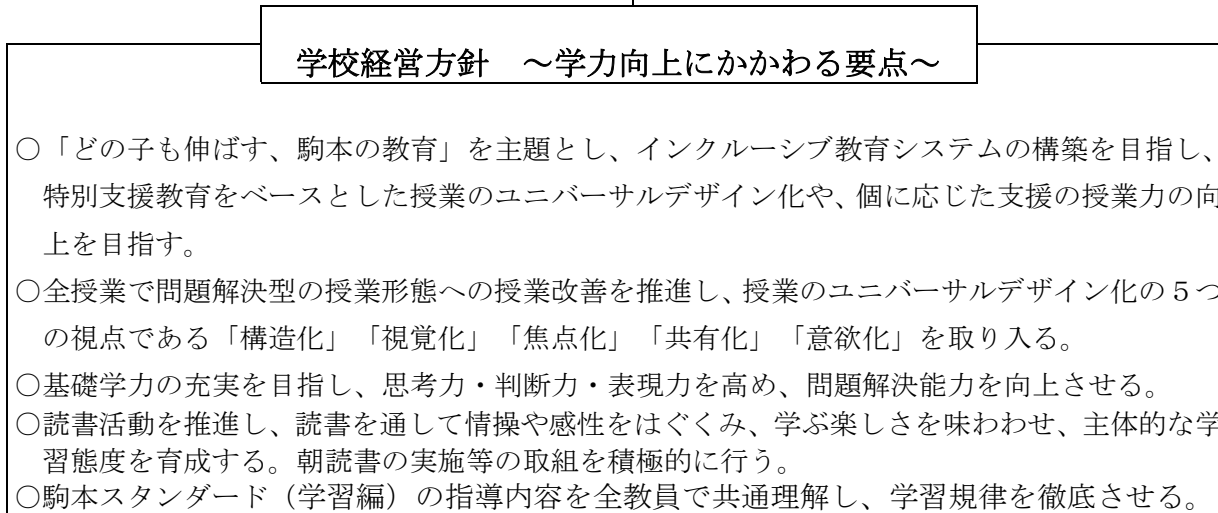
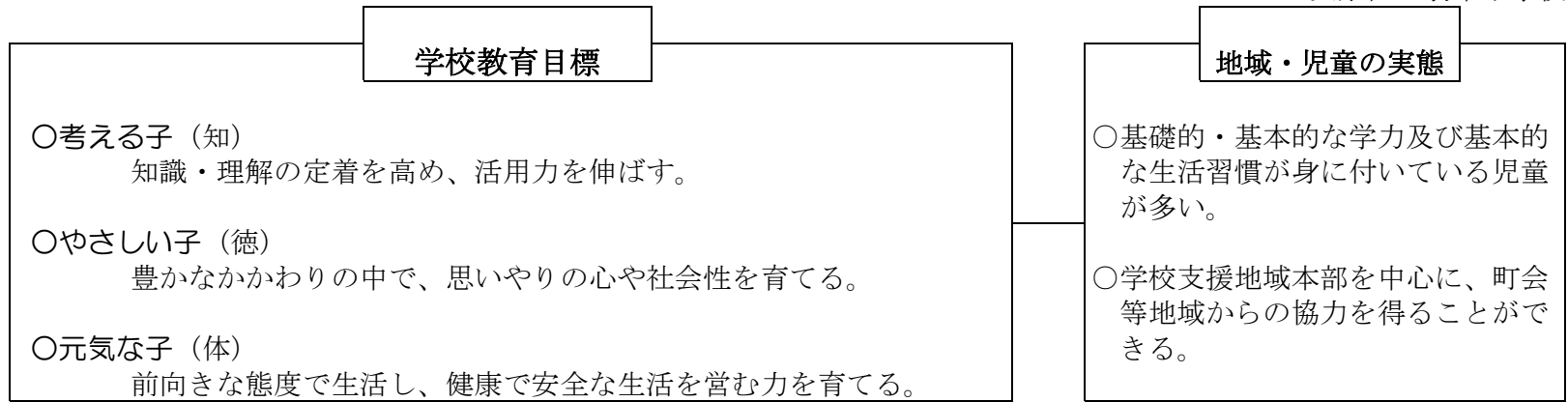


平成28年度 授業改善推進プラン

文京区立駒本小学校



学校としての授業改善の視点

＜授業のユニバーサルデザイン化の5つの視点＞

「構造化」

- ・問題解決型の学習形態を推進するために、授業の構造化における「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程を取り入れた授業を行い、各学習過程を児童に意識させる工夫をする。
- ・授業の初めにルーチン化されたウォーミングアップを行い、授業への気持ちの切り替えを図り、継続して行うことで基礎的な力を効果的に高めるようにする。
- ・学習計画を掲示し、学習の見通しをもち、どの段階を学習しているかを明確にする。

「視覚化」

- ・音声指示とともにイラスト表示を使用したり、各学習過程でタイムタイマーを用いたりするなどして視覚支援を取り入れた授業を行う。ICT機器の積極的活用にも取り組む。
- ・めあてや課題を工夫して掲示し、常に意識できるように工夫をする。

「焦点化」

- ・学習課題を明確に示し、児童にとって学習活動の見通しがもてる授業を行う。学習課題は45分で終わるよう、研ぎ澄まされたものにする。
- ・学習課題は「意欲が喚起される」「具体性がある」「複数の考えがもてる」「思考過程を重視している」ものとなるよう工夫をする。
- ・指示が分かりやすいように、内容は短く、1回に1つ行う。
- ・ワークシートの内容の精選を通して、自己の課題を明確にし、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫する。

「共有化」

- ・ペア学習、グループ学習、全体発表などで「共有」「比較」「検討」ができるよう、学び合いの活動の工夫をする。
- ・意図的指名や板書の工夫をし、大切なことを意識化させるように工夫をする。

「意欲化」

- ・児童の学習の状況を見取り、即時評価を行うなどして児童の意欲を高める工夫をする。
- ・見取りに基づく個別の支援や声かけを行う。
- ・ウォーミングアップ活動を授業のはじめに取り入れ、児童の気持ちを学習に切り替え、意欲を高める。

＜基礎学力の充実と問題解決能力の向上＞

- ・ドリルやプリントを用いた繰り返しの学習と東京ベーシックドリルや駒本算数検定の活用により、児童一人一人の基礎学力の定着を図る。
- ・問題解決的な学習活動になるように、板書やワークシートなどを工夫し、自力解決の時間を十分に確保するなどし、思考力を高める授業構成をする。

＜読書活動の推進＞

- ・週3回児童と教員ともに、一斉に朝読書に取り組み、積極的に読書に向かう態度を育てる。1～4年生は週1回程度の図書ボランティアの読み聞かせを行い、様々な本を紹介してもらうことで読書の幅を広げる。
- ・各教科において、並行読書、調べ学習への活用など、単元に関連する本がすぐに手に取れる環境を整える。

＜駒本スタンダード（学習編）＞

- ・駒本スタンダード（学習編）を全教室に掲示し、全ての教科において「授業の始めと終わりのあいさつ」「正しい姿勢」「学習用具の準備」「ノートには下敷きを敷く」「発表する時のルール」などの学習規律を定着させるための具体的指導を行う。

各学年の授業改善の視点

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
国語	<p>○効果的なウォーミングアップ用の学習材を探し取り入れる。</p> <p>○平仮名・片仮名・漢字を正しい姿勢、正確な筆順や字形で書けるよう活動を<small>スモールステップ化・定型化</small>し継続する。</p> <p>○聞く力が不十分なので、大事なことを落とさずに最後まで聞き、進んで話せるような活動を毎時間に仕組む。</p> <p>○経験したことや想像したこと、自分の気持ちを文章に表現する<small>単元学習</small>を行う。</p>	<p>○音読や新出漢字を取り入れたウォーミングアップを行っている。</p> <p>○鉛筆の正しい持ち方・書く姿勢・正確な筆順や正しい文字の形で書けるよう視覚化・焦点化した授業を継続する。</p> <p>○意図的指名や即時評価をこまめに行い、学習意欲が高まる授業を展開する。</p> <p>○時間的な順序を考えた話し方ができるような活動を取り入れていく。</p> <p>○話し手の目を見ながら、集中して最後まで聞く力を養う活動を毎時間取り入れる。</p>	<p>○ウォーミングアップの学習教材を探し、効果的に取り入れる。</p> <p>○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」授業の構造化を図る。</p> <p>○話の中心に気を付けて、自分の考えと比較しながら聞いたり、相手や目的に応じて筋道を立てて話したりすることができるよう、意見交流の時間の充実を図る。</p> <p>○段落を意識し、書こうとすることの中心を明確にして文章を書く学習の充実を図る。</p> <p>○既習・新出漢字を正確に書く力を身に付けさせるために、繰り返し学習を行う。</p>	<p>○効果的なウォーミングアップとして、名文音読や漢字学習、慣用句クイズを取り入れ基礎的な力の向上を図る。</p> <p>○焦点化された学習課題を提示し、授業の研ぎ澄ましを図る。</p> <p>○根拠を明確にして表現させることで、論理的思考力の向上を図る。</p> <p>○伝え合う力の向上のために「学び合い」の時間を特に充実させ、話し合いのルールの徹底と育成を図る。</p> <p>○意図的指名や即時評価を適切に行い、児童の意欲を高める声かけを行う。</p> <p>○ICT機器を取り入れ、視覚的な支援を充実させ、理解の促進を図る。</p>	<p>○集中力を高めるために音読を中心としたウォーミングアップを継続していく。</p> <p>○意図的指名や即時評価を適切に行い、児童の意欲を高める。</p> <p>○1学期から継続しているスピーチ活動を運動会や学習発表会など、行事ごとに継続的に取り組んでいく。</p> <p>○書く力を伸ばすために、個別の指導計画を作成し、意欲付けや個別に書く力を伸ばしていく。</p> <p>○定期的に漢字小テストを行うことで基礎的な学力を身に付けさせる。</p>	<p>○ウォーミングアップとして、漢字→詩の音読を取り入れる。</p> <p>○目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力を身に付けさせる。</p> <p>○相手の意図をつかみながら正確に聞く能力を身に付けさせる。</p> <p>○目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考え、適切に書く力を身に付けさせる。</p> <p>○意見を1つにまとめるやり方を学ぶため、「話し合い」の学習を多く取り入れる。</p>
社会			<p>○地域社会や地域の人々の生活を見学・調査し、その様子や工夫、努力について考え、地図やパンフレット、新聞等に表現する活動を重視する。</p> <p>○地図や様々な資料から必要な情報を読み取る活動を多く取り入れ、資料を基に考える力を身に付けさせる。</p>	<p>○ウォーミングアップの中で、都道府県を覚えるミニテストを行っていくことで基礎的な知識を養う。</p> <p>○「考える」時間では調べ学習を中心に据えて、資料活用能力の向上を図る。</p> <p>○地域の様々な施設やそこで働く人々の働きを知るために、見学や出前授業を充実させ、体験的な学習を行うことで、問題解決能力の向上を図る。</p> <p>○ICT機器を取り入れ、視覚的な支援を充実させ、理解の促進を図る。</p>	<p>○集中力を高めるためのウォームアップとして都道府県クイズを取り入れている。今後も市町村クイズなど意欲を高めるウォーミングアップを取り入れていく。</p> <p>○表現力を高めるために、新聞づくりやノートづくりに取り組んできた。さらに工夫を生かすために個別指導や新聞づくりのスキルアップをはかる。</p> <p>○学び合いの時間を多く取り、考える力を伸ばす。</p>	<p>○ウォーミングアップとして、既習内容のテストを行ったり、フラッシュカードを行うことで、基礎的な知識を養う。</p> <p>○授業の構造化を図る。</p> <p>○我が国の歴史と政治に興味・関心をもち理解を深める。</p> <p>○基礎的資料を活用し、情報を読み取る力を身に付ける。また、調べたことや考えたことを表現する力を身に付けさせる。</p>

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
算 数	「こまもと検定」を実施し、基礎的基本的な学力の定着を図る。					
	<p>○集中力を高めるためのウォーミングアップとして20ます計算等から取り入れる。</p> <p>○学習の理解を深めるため、ブロックなどの半具体物の操作など視覚化やゲーム的な作業など、体験的な活動を計画的に取り入れる。</p> <p>○学習過程の構造化を図り、筋道を立てて自分の考えを書いたり、発表したりする活動を多く取り入れる。</p> <p>○たし算・ひき算の計算の技能を確実に身に付けさせるため、東京ベーシックドリルを活用する。</p>	<p>○算数の授業への気持ちの切り替えや計算力を高めるため、30～50ます計算等を各コースで取り入れる。</p> <p>○学習の理解を深め、思考力を高めるため、数カードや算数ブロック等半具体物の操作活動を計画的に取り入れる。</p> <p>○繰り返しドリル、計算プリント、東京ベーシックドリルを活用して、基礎的な学習内容の定着を図る。</p> <p>○「考える」では、自分の考えをまとめ、「学び合う」では、自分の考えを発表したり、友達との考えと共有・比較し、数学的な思考力を高める授業展開していく。</p>	<p>○集中力を高めるためのウォーミングアップ学習を効果的に取り入れる。</p> <p>○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」授業の構造化を図る。</p> <p>○ノート指導と並行して、既習事項を基に筋道を立てて考え、主体的に問題を解決していく学習を重視する。</p> <p>○ノートに自分の考えを書き、表現できる力を身に付けさせる。</p> <p>○基礎・基本となる知識・技能の定着を図り、正確に課題を解決できるようにする。</p>	<p>○ウォーミングアップでは、100マス計算を取り入れ、計算力の向上を図る。</p> <p>○ICT機器を取り入れ、視覚的な支援を充実させ、理解の促進を図る。</p> <p>○ドリル、プリント、東京ベーシックドリルの活用により基礎学力の向上を図る。</p> <p>○学習問題に対して、既習事項を使った自力解決と自分の考えを表現する活動を重視した授業を展開して、思考力・表現力の向上を図る。</p> <p>○根拠を明確にして表現させることで、論理的思考力の向上を図る。</p> <p>○個々の力に応じたプリントなどを用意したり、補習を行うなどして個別の配慮を行う。</p>	<p>○集中力を高めるために100マス計算などをウォーミングアップに取り入れる。</p> <p>○ICTを活用して、授業内容を視覚的に理解しやすくする。</p> <p>○既習事項を生かして、筋道を立てて考える力を伸ばすために、課題解決的な授業構成を取り入れる。</p> <p>○複数の解法を見出せるような学習問題を設定する。</p> <p>○ペア学習やグループ学習を意図的に取り入れ、意見を交流させたり、考えを深めさせたりする。</p> <p>○繰り返しドリル、計算プリント、東京ベーシックドリルを活用して、基礎的な学習内容の定着を図る。</p>	<p>○ウォーミングアップとして、「こまもと検定」や「東京ベーシックドリル」「100マス計算」を活用することで、基礎学力の向上を図る。</p> <p>○「数量関係」の学習を充実させることにより、伴って変わる二つの量についての理解を深める。</p> <p>○既習事項を基に見通しをもち筋道を立てて考える力を付けさせる。</p> <p>○身に付けた基礎的・基本的な知識や技能を進んで生活の中で生かそうとする態度を育てる。</p> <p>○授業の構造化を図る。</p>
理 科			<p>○視点を明確にして観察・実験を行い過程や結果を的確に記録する能力を身に付けさせる。</p> <p>○自然の事物・現象を比較しながら差異点と共通点を調べる活動を重視し、科学的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<p>○ウォーミングアップとして、「フラッシュカード」等を活用することで、基礎学力の向上を図る。</p> <p>○実験や観察などの体験を多く取り入れ、確実な知識を身に付けさせる。</p> <p>○観察・実験の結果を整理し、考察し、表現する学習活動を重視し、科学的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>○ICT機器を取り入れ、視覚的な支援を充実させ、理解の促進を図る。</p>	<p>○実験に意欲的に取り組めるよう導入の工夫や教材の工夫をする。</p> <p>○観察力を高められるように、観察の視点や気が付かせたいポイントを明確にする。</p> <p>○考察に用いる用語を明確にし、思考力が伸ばすための文章力を身に付けさせる。</p> <p>○学習に意欲的に取り組めるよう、ノートづくりを丁寧に行い、観察の記録や結果の記録を意欲的に活動できるようにする。</p>	<p>○ウォーミングアップとして「東京ベーシックドリル」や「フラッシュカード」等を活用することで、基礎学力の向上を図る。</p> <p>○観察・実験の結果を整理し考察する活動、科学的な言葉や概念を使用して考えたり説明したりする活動、体験的な活動を積極的に授業に取り入れる。</p> <p>○児童の主体的な問題解決活動を重視すると共に、学習の成果と生活との関連を図り、実感を伴った理解ができるようにする。</p>

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
生活	○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の学習過程の 構造化 を図り、活動や体験を多く取り入れ、その楽しさを存分に味わわせる。 ○活動で気付いたことを表現したり 共有化 したりできるように、時間の余裕をもった学習計画を立てる。	○学習の見通しをもたせて、「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の学習過程に沿った活動や体験を取り入れることで学習を深める。 ○活動の中での気付きや疑問を表現し、全体で共有しできるように学習計画を立てる。 ○学習が深まるよう、本やパソコンを用いた調べ学習を取り入れる。	/	/	/	/
	○ウォーミングアップの音楽遊びを通して友達と関わりながら基礎力を養い、音楽に親しむ。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図り、音楽表現の楽しさに気付かせる。 ○学習過程において、視覚支援を取り入れた授業を行う。	○ウォーミングアップの音楽遊びを通して友達と関わりながら基礎力を養い、音楽に親しむ。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図り、音楽表現の楽しさに気付かせる。 ○学習過程において、視覚支援を取り入れた授業を行う。	○ウォーミングアップを通して友達と関わりながら音楽に親しむ。また、音楽スキル獲得に役立てる。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図り、基礎的な表現の能力をのぼす。 ○学習過程において、視覚支援を取り入れた授業を行う。	○ウォーミングアップを通して友達と関わりながら音楽に親しむ。また、音楽スキル獲得に役立てる。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図り、基礎的な表現の能力をのぼす。 ○学習過程において、視覚支援を取り入れた授業を行う。	○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図り、音楽を形作っている要素と関連付けながら思考力・判断力・表現力を身に付けさせる。 ○グループ学習、全体発表などで「共有」「比較」「検討」ができるよう、学び合いの活動の工夫をする。	○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図り、音楽を形作っている要素と関連付けながら思考力・判断力・表現力を身に付けさせる。 ○グループ学習、全体発表などで「共有」「比較」「検討」ができるよう、学び合いの活動の工夫をする。
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
音楽	○ウォーミングアップの音楽遊びを通して友達と関わりながら基礎力を養い、音楽に親しむ。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図り、音楽表現の楽しさに気付かせる。 ○学習過程において、視覚支援を取り入れた授業を行う。	○ウォーミングアップの音楽遊びを通して友達と関わりながら基礎力を養い、音楽に親しむ。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図り、音楽表現の楽しさに気付かせる。 ○学習過程において、視覚支援を取り入れた授業を行う。	○ウォーミングアップを通して友達と関わりながら音楽に親しむ。また、音楽スキル獲得に役立てる。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図り、基礎的な表現の能力をのぼす。 ○学習過程において、視覚支援を取り入れた授業を行う。	○ウォーミングアップを通して友達と関わりながら音楽に親しむ。また、音楽スキル獲得に役立てる。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図り、基礎的な表現の能力をのぼす。 ○学習過程において、視覚支援を取り入れた授業を行う。	○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図り、音楽を形作っている要素と関連付けながら思考力・判断力・表現力を身に付けさせる。 ○グループ学習、全体発表などで「共有」「比較」「検討」ができるよう、学び合いの活動の工夫をする。	○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図り、音楽を形作っている要素と関連付けながら思考力・判断力・表現力を身に付けさせる。 ○グループ学習、全体発表などで「共有」「比較」「検討」ができるよう、学び合いの活動の工夫をする。
	○意欲や集中力が高まるウォーミングアップの活動を取り入れる。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図る。 ○図工室でのルールや班活動を定着させる。 ○材料の良さを感じながら自分の想いを広げ、やりたいことを見つける場面を設定する。 ○造形あそびで様々な物と関わる機会を増やす。 ○クレヨンや粘土に親しみ、のりはさみ、テープなどの道具を正しく使えるようにする。 ○鑑賞の時間に感じたことを伝えられるようにする。	○意欲や集中力が高まるウォーミングアップの活動を取り入れる。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図る。 ○図工室でのルールや班活動を定着させる。 ○材料の良さを感じながら自分の想いを広げ、やりたいことを見つける場面を設定する。 ○造形あそびで様々な物と関わる機会を増やす。 ○カッターを安全に使えるようにして造形の可能性を広げる。 ○鑑賞の時間に感じたことを伝えられるようにする。	○意欲や集中力が高まるウォーミングアップの活動を取り入れる。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図る。 ○材料の良さを感じたり友達と関わったりしながら自分の想いを広げ、自分のテーマを表そうとする場面を設定する。 ○新しい道具や材料として釘、金づち、のこぎりを安全に使えるようにして、造形の可能性を広げる。 ○鑑賞の時間に感じたことを書いたり伝えたりできるようにする。	○意欲や集中力が高まるウォーミングアップの活動を取り入れる。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図る。 ○材料の良さを感じたり友達と関わったりしながら自分の想いを広げ、自分のテーマを表そうとする場面を設定する。 ○新しい道具や材料として彫刻刀を使用する。刃物の扱いには徹底した安全指導を行う。 新しい表現を可能にするために、安全に楽しく使えるようにして造形の可能性を広げる。 ○鑑賞の時間に感じたことを書いたり伝えたりできるようにする。	○意欲や集中力が高まるウォーミングアップの活動を取り入れる。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図る。 ○教師の提案、友達との意見交換（相互評価）など活動に関する多くの情報の中から自分に必要な情報を選択し、自分の想いを見つめたり、深めたりしながら自分のテーマを表そうとする姿を育てる。 ○新しい道具として電動糸のこぎりやペンチを使用する。電気製品の扱いに注意し、安全に楽しく使えるようにして造形の可能性を広げる。 ○鑑賞の時間に感じたことを書いたり伝えたりできるようにする。	○意欲や集中力が高まるウォーミングアップの活動を取り入れる。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図る。 ○教師の提案、友達との意見交換（相互評価）など活動に関する多くの情報の中から自分に必要な情報を選択し、自分の想いを見つめたり、深めたりしながら自分のテーマを表そうとする姿を育てる。 ○今までの経験を生かして、材料や道具を選び、技能を生かす応用力を養う。 ○鑑賞の時間に感じたことを書いたり伝えたりできるようにする。
図工	○意欲や集中力が高まるウォーミングアップの活動を取り入れる。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図る。 ○図工室でのルールや班活動を定着させる。 ○材料の良さを感じながら自分の想いを広げ、やりたいことを見つける場面を設定する。 ○造形あそびで様々な物と関わる機会を増やす。 ○クレヨンや粘土に親しみ、のりはさみ、テープなどの道具を正しく使えるようにする。 ○鑑賞の時間に感じたことを伝えられるようにする。	○意欲や集中力が高まるウォーミングアップの活動を取り入れる。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図る。 ○図工室でのルールや班活動を定着させる。 ○材料の良さを感じながら自分の想いを広げ、やりたいことを見つける場面を設定する。 ○造形あそびで様々な物と関わる機会を増やす。 ○カッターを安全に使えるようにして造形の可能性を広げる。 ○鑑賞の時間に感じたことを伝えられるようにする。	○意欲や集中力が高まるウォーミングアップの活動を取り入れる。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図る。 ○材料の良さを感じたり友達と関わったりしながら自分の想いを広げ、自分のテーマを表そうとする場面を設定する。 ○新しい道具や材料として釘、金づち、のこぎりを安全に使えるようにして、造形の可能性を広げる。 ○鑑賞の時間に感じたことを書いたり伝えたりできるようにする。	○意欲や集中力が高まるウォーミングアップの活動を取り入れる。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図る。 ○材料の良さを感じたり友達と関わったりしながら自分の想いを広げ、自分のテーマを表そうとする場面を設定する。 ○新しい道具や材料として彫刻刀を使用する。刃物の扱いには徹底した安全指導を行う。 新しい表現を可能にするために、安全に楽しく使えるようにして造形の可能性を広げる。 ○鑑賞の時間に感じたことを書いたり伝えたりできるようにする。	○意欲や集中力が高まるウォーミングアップの活動を取り入れる。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図る。 ○教師の提案、友達との意見交換（相互評価）など活動に関する多くの情報の中から自分に必要な情報を選択し、自分の想いを見つめたり、深めたりしながら自分のテーマを表そうとする姿を育てる。 ○新しい道具として電動糸のこぎりやペンチを使用する。電気製品の扱いに注意し、安全に楽しく使えるようにして造形の可能性を広げる。 ○鑑賞の時間に感じたことを書いたり伝えたりできるようにする。	○意欲や集中力が高まるウォーミングアップの活動を取り入れる。 ○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の4つの学習過程の構造化を図る。 ○教師の提案、友達との意見交換（相互評価）など活動に関する多くの情報の中から自分に必要な情報を選択し、自分の想いを見つめたり、深めたりしながら自分のテーマを表そうとする姿を育てる。 ○今までの経験を生かして、材料や道具を選び、技能を生かす応用力を養う。 ○鑑賞の時間に感じたことを書いたり伝えたりできるようにする。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
家庭					<p>○ウォーミングアップとして、基礎的な知識の確認や、針と糸を使ったトレーニングを行う。</p> <p>○縫い方や切り方の指導は、実物もしくは拡大したものを使って行う。</p> <p>○縫い方や切り方の動画や写真を各自が確認できるような環境を整える。</p>	<p>○ウォーミングアップとして、基礎的な知識の確認や針と糸を使ったトレーニングを行う。</p> <p>○縫い方や切り方の指導は、実物もしくは拡大したものを使って行う。</p> <p>○縫い方や切り方の動画や写真を各自が確認できるような環境を整える。</p>
体育	<p>○「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の学習過程の構造化を図り、見通しや課題意識をもって活動に取り組ませる。</p> <p>○きまりを守り、仲良く協力しながら、安全面に留意しながら活動に取り組ませる。</p> <p>○掲示物によるルールや動きのポイントの視覚化や、友達の良いところを見つける伝え合う活動を通して、意欲的に楽しく活動する。</p>	<p>○規律を守り、協力し合うことで、全員が気持ちよく活動に取り組めるようにする。</p> <p>○学習カードを用いて、毎回めあてをもって活動できるようにする。</p> <p>○体力テストの結果を基に、走力を上げる運動を毎回取り入れる。</p> <p>○ペア活動を積極的に取り入れ、お互いの動きを見合ったり、良いところを伝え合うことを通して、互いに向上しようとする態度を育成する。</p>	<p>○「体づくり運動」では、多様な動きやみんなでかかわることができる運動を重視し、体を動かす楽しさを味わえるようにする。</p> <p>○共にかかわり合い、学び合う活動を積極的に取り入れ、継続して運動に取り組む態度を育成する。</p>	<p>○体力テストの結果を基に、特に課題となる項目を伸ばす運動をウォーミングアップの中に取り入れる。</p> <p>○活動の中に、ペア、グループ、チームで学習する場面を取り入れ、「学び合う」活動の充実を図り、協力・公正などの態度を育てる。</p> <p>○学習カードを用いて、自分の力に合った練習方法を選択できるようにするなど、「考える」活動を重視し、個に応じた支援を行う。</p> <p>○養護教諭と連携をしながら、体の発達について適切に理解できるようにする。</p> <p>○ICT機器を取り入れ、視覚的な支援を充実させ、理解の促進を図る。</p>	<p>○体力テストの結果を基に上半身の筋力を付ける運動や、敏捷性を高める運動を多く取り入れる。</p> <p>○学習カードに技能ポイントを取り上げ、めあてを具体的にもてるようにする。</p> <p>○多様な場や練習方法を設定し、個に応じた練習計画を立てられるようにする。</p> <p>○準備に協力したり、きまりやルールに従ったりできるような態度を育成する時間を取る。</p>	<p>○学習の目あてを個々にもたせるため、学習カードを活用する。</p> <p>○ルールや場作りなどは、視覚的に訴えるようなものを用意し、主体的に活動に取り組めるようにする。</p> <p>○ルールを守りながら友達と運動することの楽しさを感じられるようにする。</p>